

2008年11月11日

報道関係者各位

日本郵政株式会社
郵便事業株式会社
株式会社木楽舎
有限責任中間法人ロハスクラブ

日本郵政、日本郵便、月刊ソトコト、ロハスクラブ共催
**『いきものが暮らす、地球の未来へ贈ろう！
～カーボンオフセット年賀・地球温暖化防止キャンペーン～』をキックオフします。**

日本郵政グループの日本郵政株式会社(東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 西川善文)、郵便事業株式会社(同、代表取締役会長 CEO 北村憲雄、以下「日本郵便」)、および月刊ソトコト(株式会社木楽舎)、有限責任中間法人ロハスクラブ(代表理事 小黒一三、以下「ロハスクラブ」)は、地球温暖化防止への啓発を目的として、3社1団体の共催により11月29日(土)より『いきものが暮らす、地球の未来へ贈ろう！～カーボンオフセット年賀・地球温暖化防止キャンペーン～』を開始いたします。

地球温暖化は、洞爺湖サミットにおいても主要テーマになるなど、人類にとって深刻な問題として認識され、その対策が急務となっています。さらに地球温暖化は、私たち人間の生活だけでなく、様々な動物(いきもの)の生息環境にも大きな影響を及ぼすものであり、温暖化の防止は、生物多様性の保全とも密接に関係していると言われています。

このような認識の下、本取組みは地球温暖化を自分たちの問題として捉え、また、人間を含むあらゆるいきものたちが、健やかに暮らしていける地球の未来について一人ひとりが考え、行動にうつす契機となるべく実施するものです。「カーボンオフセット年賀」という一つのエコアクションのツールを通じて、自らも「温室効果ガス削減へ貢献」しながら、受け取った人にもカーボンオフセットの考え方や意義を伝えていこうというものであり、いきものたちと いつまでも共に暮らしていける地球の未来のために、個々人の地球温暖化防止への行動を呼びかけてまいります。

日本郵政グループは、グループ共通のCSR活動の重点課題として、「地球温暖化対策の実施」に取り組んでいます。この取組みの一つとして、日本郵便は、地球温暖化防止の対策に有効とされるカーボンオフセットの考え方や、個人が行動する意義を広く啓発するために、平成20年用年賀葉書から寄附金付お年玉付郵便葉書「カーボンオフセット年賀」を商品化しました。平成20年用年賀では、年賀寄附金と日本郵便のマッチング寄附により、公募で選定された3つの非営利団体を通じて、CDMプロジェクトによる総数38,175トンの排出権を取得の上、日本政府管理口座へ移転(償却)することにより、京都議定書の約束であるマイナス6%の達成に貢献いたしました。

一方、月刊ソトコトおよびロハスクラブも、両者の活動において、地球温暖化防止の啓発活動や、カーボンオフセットの認知拡大に努めています。各動物園・水族館へ寄せられた年賀状につきましては、カーボンオフセット年賀の寄附金とは別に、月刊ソトコトを発行する木楽舎の独自の環境貢献プログラムとして、年賀葉書1枚当たり5円を、マレーシア・ボルネオの生物多様性保全に取り組む「BCT ジャパン」へ寄附をさせていただきます。また、ロハスクラブは、日本郵便のカーボンオフセット年賀の意義に賛同し、平成20年度カーボンオフセット年賀寄附金配分助成事業の公募で選定された非営利法人として、ブラジルの木質バイオマス発電(国連認証番号:UNFCCC No.0228)CDMプロジェクトの排出権を代理取得することで、日本郵便と協働いたしました。

地球温暖化問題への啓発に取り組む3社1団体は、本キャンペーンを通して、地球温暖化の問題やカーボンオフセットの考え方を広く周知すると共に、個人レベルでの温暖化防止への行動の必要性について理解啓発を図ってまいります。

以上

【キャンペーン概要】

●名称：『いきものが暮らす、地球の未来へ贈ろう！～カーボンオフセット年賀・地球温暖化防止キャンペーン～』

●キャンペーン実施期間：2008年11月29日(土)～2009年1月5日(月)

●ウェブサイト開設期間：2008年11月12日(水)～2009年1月31日(土)(予定)

●キャンペーン内容：①「いきものたち」といつまでも共に暮らしていける地球の未来のために、動物園・水族館にカーボンオフセット年賀を贈ろう！

「いきものたち」といつまでも共に暮らしていける地球を守るため、地球温暖化防止のために自分自身ができること—2009年のエコ宣言！—をメッセージとして、下記協力団体の各動物園・水族館の「いきものたち」宛に、カーボンオフセット年賀を贈っていただきます。小さな行動でも、年のはじめに自分の「エコ宣言」を考え、カーボンオフセット年賀で行動を起こしていただくことは、温暖化防止への行動の第一歩となります。

カーボンオフセット年賀を用いて「2009年のエコ宣言！」をお寄せいただき、返信先をご記入の上、1月5日必着でご参加いただいた皆様の中から、抽選で各施設300名の方に、協力動物園・水族館からお礼のカーボンオフセット年賀状をお送りする予定です。

地球温暖化の問題を一人ひとりが考え、身近な取り組みとしてカーボンオフセット年賀を贈ることで、「いきものたち」が暮らす地球の未来のための行動のきっかけを作る取り組みです。

尚、カーボンオフセット年賀の寄附金とは別に、月刊ソトコトを発行する木楽舎の独自の環境貢献プログラムとして、各動物園・水族館へ寄せられた年賀状数の1枚当たり5円を、マレーシア・ボルネオの生物多様性保全に取り組む「BCT ジャパン」へ寄附をさせていただきます。

② 特設サイト限定「いきものたち」の年賀葉書用画像のフリーダウンロードサービス

下記協力団体の動物園・水族館からご提供いただいた、地球温暖化が進めば真っ先にその生態系に影響を受けてしまう「いきものたち」の画像を無償でダウンロードし、年に一度、大切な人へ贈る年賀状の画像として活用してもらうことで、彼らを温暖化の影響から守り、共にいつまでも暮らせる地球でありたいという意識の共有を促します。

●協力団体：旭山動物園（北海道旭川市）
円山動物園（北海道札幌市）
男鹿水族館GAO（秋田県男鹿市）
エプソン品川アクアスタジアム（東京都品川区）
東山動植物園（愛知県名古屋市）
平川動物公園（鹿児島県鹿児島市）

『いきものが暮らす、地球の未来へ贈ろう！～カーボンオフセット年賀 地球温暖化防止キャンペーン～』
特設サイト

<http://www.sotokoto.net/action-carbonoffset>
(2008年11月12日オープン)

平成21年用カーボンオフセット年賀 オフィシャルサイト
<http://www.carbonoffset-nenga.jp>

【キャンペーンに関する報道関係の方のお問合せ先】

『いきものが暮らす、地球の未来へ贈ろう！
～カーボンオフセット年賀・地球温暖化防止キャンペーン～事務局
担当：杉山、原澤
電話 03-6825-3330 FAX: 03-5413-3050

【本件に関する報道関係の方のお問合せ先】

郵便事業株式会社 経営企画部門 渉外広報部
電話：（代表）03-3504-4411
（直通）03-3504-9798
（FAX）03-3592-7620

(参考資料) カーボンオフセット年賀について

1. 「カーボンオフセット年賀」の概要

日常生活の中で自らの努力だけではどうしても削減しきれないCO₂などの温室効果ガスを、地球温暖化防止を推進する世界各地のクリーンエネルギー事業などを支援し、CO₂を削減することにより打ち消す(Offset)仕組みがカーボンオフセットという考え方です。

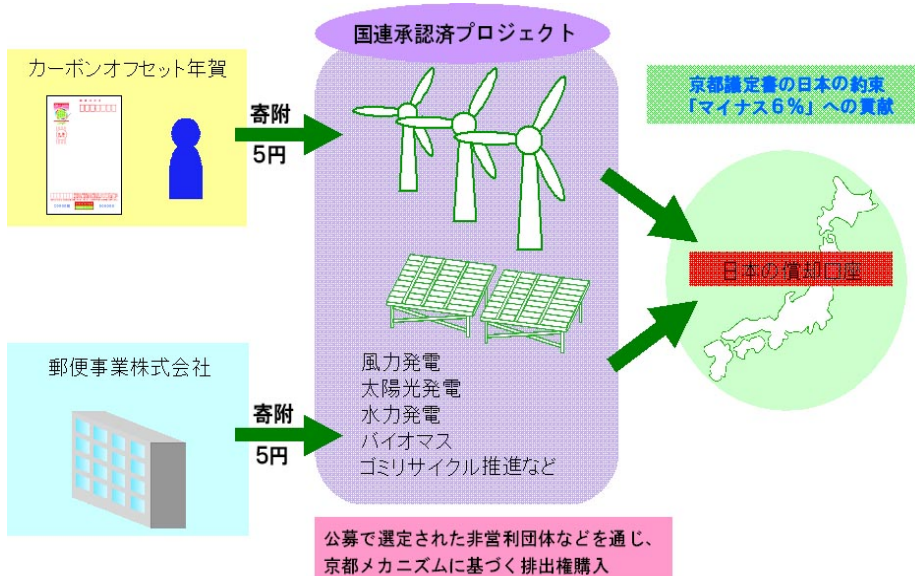
このカーボンオフセットの仕組みを、日本中のほとんどの人々が、年頭に手にする「年賀葉書」という日本で最大規模のコミュニケーションツールに取り入れ、全国の津々浦々の方々が、個人レベルで京都議定書に定められた日本の温室効果ガス排出削減目標である「マイナス 6%」の達成に貢献できるのが「カーボンオフセット年賀」です。

カーボンオフセット年賀は、販売価格 55 円のうち 5 円が寄附金となり、地球温暖化防止を推進するプロジェクトを支援し、京都議定書で定められた日本の温室効果ガス削減目標である「マイナス 6%」の達成に貢献する寄附金付お年玉付郵便葉書です。集まった寄附金は、非営利団体を通じて、途上国の CDM 事業(国連で承認されたクリーン開発メカニズム)に拠出し、排出権を取得します。協力いただく非営利団体は毎年公募の上、社外有識者による審査委員会により決定され、取得した排出権は日本政府の償却口座に移転、日本の温室効果ガス削減分に組み込まれる仕組みです。

平成 20 年用カーボンオフセット年賀では、お客さまの寄附金と郵便事業株式会社からの同等額の寄附金をあわせて、38,175 トンの排出権を取得し、日本政府管理口座へ移転(償却)することにより、京都議定書の約束であるマイナス6%の達成に貢献しました。

カーボンオフセット年賀は、地球温暖化防止を啓発する有益なコミュニケーションツールの役割も備えています。この年賀を送る人は、寄附金により「マイナス 6%」の達成に貢献するとともに、地球温暖化防止への意識を持って行動していることを伝えることができます。また、これを受け取った人は、地球温暖化防止へのメッセージを受け取ることで、地球温暖化防止の意識を高めることができます。

2. 「カーボンオフセット年賀」寄附金の流れ



3. 「カーボンオフセット年賀」デザイン

